

映画ドラマ
安曇野ロケ地MAP
Azumino Location Map



ウェブサイトに詳しい案内地図を紹介しています。
“安曇野案内倶楽部”で検索または右のQRコードをご利用ください。



1三柱神社

作品名

●神様のカルテ(2011)

松本市の病院を舞台に地域医療の現実と向き合う医師の物語。主人公公本神がよくお参りする神社として作中何度も登場しました。神社は二本一市市場両地区の産土神です。

4-B

2安曇野市立三郷中学校

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

安曇野が舞台となった連続ドラマ。回想シーンのなかで、主人公たちがかつて通っていた「穂高高校」として登場しました。(一般の方の立入りはご遠慮ください。)

3

JR大糸線 梓橋駅東側踏切

作品名

●ホーム&アウェイ(2002)

主人公が松本から豊科近代美術館へと向かう道中、乗車したバスで通過した踏切。

4

飯野屋(蔵久)

作品名

●姉妹(1955) ●朝やけの時(1973) ●犬神家の一族(1976) ●鉄眼(1981) ●ボクの女に手を出すな(1986) ●花嫁は眠れない(1987)

現在かりんとうの蔵久が店舗を構える古民家は、日本酒の蔵元だった飯野屋の屋敷。主屋をはじめとする建物の多くが国の登録有形文化財で、蔵久が営業するエリアは出入りが可能です。安曇野のロケ地としては単発的的存在で、映画の時代劇からテレビのサスペンスドラマまで、幅広い作品の舞台として数度の内外が映像に登場しました。(蔵久の営業エリア以外は一般公開していません。)

5

安曇野市立豊科南中学校

作品名

●電池が切れるまで(2004)

物語の舞台・信州子ども病院の院内学級を管轄する母校「豊科町立安曇野南中学校」として登場しました。(一般の方の立入りはご遠慮ください。)

6

長野県立子ども病院

作品名

●電池が切れるまで(2004) ●浅見光彦シリーズ「佐渡伝説殺人事件」(2011)

物語の舞台「長野県立信州子ども病院」として、建物内外で多くの撮影が行われました。「浅見光彦…」では建物外観のみが登場です。(一般の方の立入りはご遠慮ください。)

8

アップルランド デリシア豊科店

作品名

●おひさま(2011)

物語の冒頭、現代の都会に暮らす主婦が店の出入口で転倒し、その後安曇野を訪れるきっかけとなったラジオ放送を聴くシーンが撮影されました。

9

安曇野市豊科近代美術館

作品名

●ホーム&アウェイ(2002)

主人公が行方不明の父の足跡を辿るために立ち寄った美術館として登場しました。

10

安曇野市立豊科北中学校

作品名

●ロックム、静かに流れよ(1986)

ロックが好きな高校生たちの友情を描いた物語。主人公たちの通う「松本市内の高校」として登場しました。(一般の方の立入りはご遠慮ください。)

11

安曇野スイス村

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

複合観光施設の整った安曇野スイス村の一角。現在のホースランド安曇野のあるエリアが野外結婚式の会場として登場しました。

12

重柳の農道

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

ヒロインと友人が雨のなかで傘を差しながら歩くシーンなど、のどかな田園風景がたびたび登場しました。

13

自然体験交流センターせせらぎ

作品名

●おひさま(2011)

センター傍らの美しい湧水の流れが、主人公たちの散策シーンなどでしばしば登場。またドラマの場面切替りのカットとして、水草の揺れる湧水の様子が幾度も挿入されました。

14

長峰山

作品名

●あの日の僕をさがして(1992) ●ほっかや(温泉区)事件カルデ4(2004) ●おひさま(2011) ●所轄刑事8(2013) 他

安曇野と北アルプスを一望できる、安曇野エリア随一の展望スポット。数々のドラマで象徴的なシーンとして登場しました。

15

国営アルプスあつみの公園事業用地

作品名

●おひさま(2011)

主人公の自宅がある集落へ向かう道中にある、道祖神と茅葺小屋の立つ。劇中なんども登場し、印象的なシーンが撮影されました。(建物と道祖神の撮影セットは撤去されています。)

16

大庄屋山口家

作品名

●朝やけの時(1973) ●鉄眼(1981) ●ボクの女に手を出すな(1986) ●海警部補の事件日誌(2005) ●北アルプス連続殺人ルート(2008) ●新聞記者・鶴巻吾郎(2006)

江戸時代の大庄屋を務めていた山口家は、長野県名勝指定を受ける庭園など屋敷の一部が一般公開されています。武家屋敷を思わせる立派な門や、名勝の庭園が目の前に広がる古民家の内外では、時代劇から現代のサスペンスまで、これまで数々の映画やドラマのロケ地に採用され、多くの名優が訪れて撮影が行われました。(建物・庭園の一般公開は春～秋シーズンです。)

17

あつみ野常念焼第二工房陶芸体験館

作品名

●沙粧妙子-帰還の挨拶-(1997)

陶芸体験の出来る工房。ドラマでは主人公が陶芸見習いに通っている工房として登場しました。(陶芸体験は団体予約のみです。)

18

啼鳥山荘

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

須砂渡島川渓谷の森の中に立つ、多目的宿泊施設。林間学校などにも使われる建物。作中でヒロインの婚約者が勤める環境庁の事務所として登場しました。

19

満願寺

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

日本三霊橋のひとつと言われる微妙橋(みきょうはし)。市有文化財になっている場の上で、高校時代の回想シーンとして主人公が恋人を旅行へ誘う場面に登場しました。

20

ペンションあるかす

作品名

●十津川警部シリーズ37・特急あすき殺人事件(2008)

人気サスペンスドラマ「十津川警部シリーズ」。被害者でもある女性が経営するペンションとして、作中でも「あるかす」という美名で何度も登場しました。

21

安曇野アートヒルズミュージアム

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

美術館・ショップ・工房などガラスの複合施設。主人公とヒロインたちが、ガラス工房を見学したり、レストランで食事をするシーンなどに登場しました。

安曇野ロケ地MAP(映画)(TVドラマ)

北アルプスを背景に田園風景が広がる安曇野は、これまで数多くの映画やドラマのロケーションを受け入れてきました。豊かな自然と歴史・文化が息づく美しい風景は、この地に暮らす私たちみんなの誇りです。安曇野らしさ溢れる風景を、いつまでも大切に守り育ててゆきたい。そんな願いを込めて、映像作品になった安曇野の風景をここに紹介します。

45 碓山美術館

作品名

●あの日の僕をさがして(1992) ●空から降る一億の星(2002) ●有閑倶楽部(2007)

「空から…」では主人公が自身の過去を訪ねるシーン「あの日の…」では主人公がデートで訪れるシーンで、それぞれ登場しました。碓山美術館は国登録有形文化財です。

46 穂高郵便局前の郵便ポスト

作品名

●ミッドナイト・イーグル(2007)

主人公と後輩の記者が謎の飛行物体に関する取材に向かう途中、後輩記者が封書を投函するシーンにて、郵便局前のポスト周辺が登場しました。

47 安曇野市穂高会館

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

安曇野市の中央公民館と体育館などがある公共施設。主人公の馴染みのロックバンドがライブコンサートを行う会場として登場しました。

48 町尻公園

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

主人公とヒロインがふたりきり、夜中に語り合うシーンで登場しました。

49 穂高駅前通り

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

登場人物が会話するシーンなどでしばしば登場。通りに面した幾つかの店舗でも撮影が行われ、店先や店内が作中に登場しました。

50 穂高神社

作品名

●あの日の僕をさがして(1992) ●電池が切れるまで(2004) ●ほっかや(温泉区)事件カルデ4(2004)

安曇野を代表する定番スポットとして幾つもの作品に登場。作中ではヒロインの父親が経営する不動産会社の事務所兼自宅として、建物の外観や表参道の様子が幾度も登場しました。

51 小野会計事務所

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

穂高神社の表参道沿い、一の鳥居の傍らに建つ事務所。作中ではヒロインの父親が経営する不動産会社の事務所兼自宅として、建物の外観や表参道の様子が幾度も登場しました。

52 ふくらい家・笑福

作品名

●あの日の僕をさがして(1992)

国道147号沿いにある郷土料理の店。主人公たちが食事の後、店先で上司を見送るシーンで登場しました。

53 本郷

作品名

●あの日の僕をさがして(1992) ●電池が切れるまで(2004) ●おひさま(2011) ●所轄刑事8(2013)

清流万水川と蓼川に1990年、黒澤明監督の映画「夢」の一場「水車」がある村の撮影セットが多数制作され、撮影後はそのうち三つの水車小屋を保存。安曇野の代表的景観として、人気が高まり、のちに映画やテレビドラマで安曇野第一のロケ地として登場するようになりました。わざわざ農場の園内遊歩道も撮影スポットとして数多くの作品に登場しています。

54 狐島の水路と橋

作品名

●東京湾景(2004)

主人公の母が恋人との再会を待つ、狐島の水路にある涼風橋という設定で登場。作中では橋のガードレールが木製に取り替えられて撮影されました。

55 立川わさび問屋

作品名

●事件記者・三上雄太1(2004)

わさびを取り扱うお店ですが、ドラマでは主人公の実家が経営している和菓子屋として登場しました。

56 本陣等々力家

作品名

●おひさま(2011)

松本藩主も立ち寄った田舎ある数度で、主人公の親友が名古屋の専攻で夜中に子守りしながら灯明のもと、手帳を眺めるシーンで登場しました。(一般公開は春～秋シーズン。)

ロケ地について

地図に掲載されたロケ地以外にも撮影に利用された場所はまだまだたくさんあります。ロケ地情報をお持ちの皆様からの情報をお待ちしています。(作品名にある●は映画、○はテレビドラマです。)

安曇野ロケ地マップ(2013年版)
発行日：2013年(平成25年)3月1日
編集・発行：安曇野案内人倶楽部(代表 等々力秀和)
〒399-8303 安曇野市穂高5971-1
(かつらじょう 安曇野市)
TEL 0263-88-5563 FAX 0263-88-5565
URL http://azumino-guide.com
資料協力：安曇野市、ロケ地名施設の皆様、鈴木研一、宮崎崇徳
このMAPは平成24年度「長野県地域発元気づくり支援金」を受けて作成されました。